



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

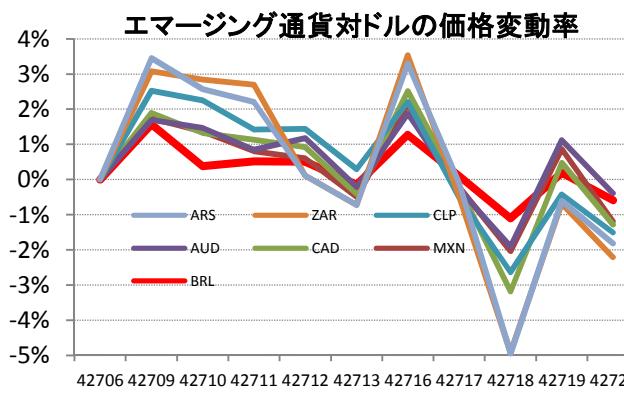
			12月12日	12月13日	12月14日	12月15日	12月16日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.3370	3.3340	3.3710	3.3650	3.3870	+0.0220
	BRL/JPY	Spot	34.49	34.56	34.51	35.04	34.82	-0.22
	EUR/USD	Spot	1.0634	1.0621	1.0550	1.0425	1.0431	+0.0006
	USD/JPY	Spot	115.11	115.25	116.35	117.91	117.98	+0.07
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	12.70	12.69	12.65	12.62	12.59	-0.0353
	Future	1Year(p.a.)	11.86	11.89	11.86	11.77	11.73	-0.0387
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.442	2.458	2.379	2.322	2.471	+0.149
	USD	1Year(p.a.)	2.538	2.561	2.487	2.457	2.542	+0.085
株式	Bovespa指數		59,178.62	59,280.57	58,212.12	58,396.16	58,389.04	-7.12
CDS	CDS Brazil 5y		291.25	292.26	292.74	297.28	293.31	-3.97
商品	CRB指数		193.346	193.457	191.786	190.476	191.429	+0.954

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルは米利上げを受けて一時3.41台まで下落。
- 週初のレアルは3.3780で寄り付いた後、地場大手建設会社が行った司法取引においてテメル伯大統領の名前が挙がったことや、世論調査で同氏の支持率が3月の調査と比較して低下したことからレアルは3.40台まで売られた。週央にはブラジル上院で歳出上限法案の最終採決が行われ賛成53票、反対14票で可決されたほか、大口の資金流入の噂が聞かれると、レアルは週間高値となる3.3020を付けた。しかし米FOMCが利上げを発表すると、週後半にかけてエマージング通貨が売られる展開となり、レアルは週間安値となる3.4110を付け、結局3.3870で越週。
- 伯中銀公表のエコノミスト予想集計では、2016年の経済成長率予想が▲3.43%から▲3.48%に引き下げられた。2017年予想は0.80%から0.70%へ8週連続の引き下げとなった。インフレ率予想は2016年末が6.69%から6.52%に5週連続で下方修正され、2017年末のインフレ率予想は4.93%から4.90%に下方修正された。政策金利予想は10.50%に据え置かれた。
- 15日に伯政府は経済成長を促進するための対策を発表。与信コストの削減、勤続年数補償基金(FGTS)の利回りを3%から5%に改善する等の施策が発表された。また、企業運営をスムーズにするための対策やBNDESを通じた中小企業に対する与信拡大も発表された。

3.今週のチャート&ハイライト



出所 : Bloomberg

米FOMC後、ドルは対エマージング通貨で大きく上昇

米FOMCは13~14日に定例会合を開き、政策金利を0.25ポイント引き上げて0.5~0.75%のレンジとした。今回の利上げは昨年12月以来となった。声明はインフレ期待が「かなり」上昇したと指摘、労働市場がタイト化しているとの見方を示した。また、FOMC参加者の2017年の利上げ回数予測中央値は9月時点で2回と予想されていたが、今回は3回となった。追加利上げ観測が強まる中、エマージング通貨は大きく売られる展開となり、レアルは3.40台を下回った。



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A
Treasury Department
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista

4.来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.35–3.55

来週は米国ではPMIやGDP等、数多くの経済指標が注目される。利上げ観測が強まる中、これらの指標発表に市場は大きく反応するだろう。又、国内では伯中銀は第4四半期のインフレレポートを発表する予定である。11月のCOPOM議事録ではインフレ予想をベースシナリオで4.4%と予想しているが、同レポートではどのような数字になるのか市場は注目している。議事録の内容と同様に、中銀は利下げ幅の拡大を示唆する可能性が高い。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGV CPI IPC-S	0.17%	0.17%	0.15%
米国	住宅着工件数	1230k	1090k	1340k

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	12/19	FIPE CPI-週次	Dec-16	--	0.18%
ブラジル	12/19	IGP-M Inflation 2nd Preview	Dec	0.3%	0.0%
ブラジル	12/19	貿易収支(週次)	Dec-16	--	\$481m
ブラジル	12/19	税収	Nov	100571m	148699m
ブラジル	12/19	登録雇用創出合計	Nov	--	-74748
ブラジル	12/20	経常収支	Nov	\$600m	-\$3339m
ブラジル	12/20	海外直接投資	Nov	--	\$8400m
ブラジル	12/21	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	Dec	0.31%	0.26%
ブラジル	12/21	長期レート	Dec-16	7.5%	7.5%
ブラジル	12/23	FGV CPI IPC-S	Dec-16	--	0.17%
ブラジル	12/23	FGV消費者信頼感	Dec	--	79.1
ブラジル	12/23	FGV建設コスト(前月比)	Dec	0.2%	0.0
ブラジル	12/23	ローン残高(前月比)	Nov	--	-0.50%
ブラジル	12/23	融資残高	Nov	--	3095b
ブラジル	12/23	個人ローン・デフォルト率	Nov	--	6.2%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しております。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適合性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様御自身で判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。